

～連載 きらり輝く「人」・「もの」・「こと」☆

第5回：福岡学区福祉委員会 織田義隆事務局長

健康寿命を延伸するためには、生活習慣の改善、介護予防の取組みが重要です。生き方のヒントになるかもしれない地域内の輝く「人」・「もの」・「こと」をご紹介します。

今年度最終回のきらり輝く「人」は、福岡学区福祉委員会事務局長を10年以上務める織田義隆さんをご紹介します。

「地域の役に立つことであれば微力ながらも力添えさせていただく」というお考えのもと、「継続は力なり」をモットーに、13年以上続ける児童の登下校の見守り活動は規則正しい生活が必要だから健康的になるし、明るく元気な児童の顔を見ることでボケないでいられると思っていますと笑ってお話いただきました。織田さんにこれからの福岡学区について、男社会になっているので女性にももっと参加してもらえると有難いですね。高齢化でひとり暮らし世帯が増えつつあるし、いろいろな問題が出てきますが、みんなで協力しあってやっていきたい。そのためにもまずは自分の健康管理に努めたいとお話いただきました。

「地域の方に喜んでもらったり、楽しんでもらうことをするのが福祉につながる」と、福祉を身近に考え、実行することも自分の健康づくりの一環として、地域のことを上手に「じぶんごと」につなげて生活される姿は、見習いたい一石二鳥の考え方ですね。織田さんが仰るように、これからの福岡学区が、男女問わずみんなで協力しあい楽しみながら、福祉も健康寿命も強く長くなっていきますように、挨拶からでもできることから気軽に地域交流をはじめてみてくださいね。



福祉委員会役員会ではいつも座らず立って進行をする織田さん

地域 コミュニティケア会議を開催しました

11/27、なのはな苑で、この地域の医療・福祉・介護の専門職が集まり、いくつになっても、できる限り安心して暮らせる地域のために話し合うコミュニティケア会議を開催しました。

糖尿病のある方が自立した生活を維持するためにどのような点に気をつけながら支援をしていくのが望ましいか、又それぞれの事業所が災害時に、どのような支援体制か等を話し合い、地域の専門職同士繋がりと知見を深めることができました。



コミュニティケア会議の様子

住み慣れた地域で出来る限り自分らしく過ごしていけるよう日々取り組んでいただいている専門職の方々の取り組みなども、地域の方に知っていただけるよう今年も本紙でご紹介していきます。ご期待ください。

お知らせ

なのはな茶屋(オレンジカフェ) 【予約不要】費用：100円

2/21(土) 10:00～12:00 3/21(土) 10:00～12:00

なのはな苑ロビー 毎月第3土曜日に開催します。子ども～大人までどなたでも参加歓迎♪

主催：なのはな苑地域包括支援センター 共催：社会福祉法人 明翠会 協賛：太田油脂株式会社

○福岡学区 いきいきクラブ

2/3(火) 血糖値が高めの方へ
3/3(火) 閉校式

○岡崎学区 いきいきクラブ

2/18(水) 昭和のクイズで頭を活性化
3/18(水) 閉講式

なぞなぞ脳トレ答え

①

き
ゆ の み
み

 ②

ゆ
か ら だ
い

③ $2 \times (6 - 2) + 2$ など

つばやき

令和7年1月1日の能登に続き、今年も1月6日に山陰で大きな地震がありました。愛知県でも、マグニチュード8クラスの東海地震や、南海トラフ全域での大地震の切迫性が高いと言われています。家具の固定など自宅内の安全スペースの確保、家族との連絡手段の確認、3日分程度の食料等の備蓄、非常持ち出し品の準備など、できることから備えていただくと共に、地域の防災訓練には積極的に参加していただくなど、災害は、いつ来るのか分かりませんが日頃からできる防災の備えを今一度ご確認願います。(地域包括職員一同)